

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	270102221		
法人名	株式会社 サニーライフ		
事業所名	グループホーム サニーライフ篠田		
所在地 (電話番号)	〒038-0011 青森県青森市篠田三丁目20番23号 (電話) 017-782-7051		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 9月 12日	評価確定日	平成 19年 10月 8日

【情報提供票より】(平成 19年 8月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 10月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	11 人, 非常勤 5 人, 常勤換算 12.3人

### (2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨造り		
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	18,000 ~ 冬季24,000 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,200 円

### (4) 利用者の概要( 8月 1日現在)

利用者人数	17 名	男性	4 名	女性	13 名
要介護1	5 名	要介護2	7 名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81 歳	最低	63 歳	最高	94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	安方クリニック・ミナトヤ歯科
---------	----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅街に囲まれたごく普通の町並みの中にホームが建っており、近隣の人達も気軽に立ち寄れる場所になっていて、地域と密着している様子が強く感じられた。家庭的な雰囲気の中で、地域との交流を大事にという、理念に基づいた取り組みがなされている。また、スーパー等も近くにあるため、買い物へも気軽に出かけられるような支援をしており、個々の利用者に向けたケアの提供がなされている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>ホームの理念は毎朝のミーティングの際に読み合わせを行い、職員間で確認し合い理解に努めている。介護計画の立案・策定に関しては、毎月の会議で各職員が意見を出し合い、計画に反映させている。急変時の対応については、看護師が職員として配置されており勉強会の中で、また日頃の生活の中で全職員が対応できるよう訓練されている。利用者の金銭管理に関しては必要な援助が適切に行われ、管理方法も適正に行われている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>地域住民へのさまざまな働きかけや、利用者と家族との接点を増やすための働きかけに努力している。同業者との実習研修会を設けるなど、積極的に学ぶ機会を持つための取り組みがなされている。また、終末ケアに関する勉強会の計画や、実際にできることできないことの見極めを検討する姿勢も見られている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2ヶ月毎に開催されている運営推進会議において、外部評価の結果や課題に対する取り組みについて詳しく報告し、意見やアドバイスをもらっている。さらに事例を通しての報告会や勉強会なども積極的に行われている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>3ヶ月に1回ではあるが、広報誌を作成し、家族へ情報を伝達している。意見や苦情等についても、職員間で話し合い、改善に向けて取り組んでいる。その結果についても広報誌に載せる予定としている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会や老人クラブ等との繋がりも確立しており、回覧板の活用によってホームの行事なども広く情報発信している。また、町内会からは役割分担も与えられて引き受けており、地域の中に溶け込んでいる様子がうかがえた。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な雰囲気の中で、その人らしい生活と地域との共存を大事にした理念を掲げ、また「人間愛・真心・笑顔」の3つをキャッチフレーズとして掲げて支援している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝のミーティングの際に読み合わせを行い、職員間で確認し合うことで共有を図り、理念の実践に向けて取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会や老人クラブ、婦人会などとの繋がりが確立しており、地域の一員として役割分担も担いながら地域活動に参加している。日頃から近隣の方々の訪問もあり、ホームの納涼祭には多くの地域住民が参加している。また老人クラブにおいて、認知症についての説明会を行うなど地域の認知症普及活動にも貢献している。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価及び自己評価を実施することの意義を職員全員が十分に理解し、評価結果については改善シートを活用し、家族・職員・経営者にもきちんと示して改善に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議において、外部評価への取り組み状況について報告し、その中から出た課題と取り組みについても報告し、意見やアドバイスをもらい、サービスの向上に努めている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>サービスを提供していく上での不明な点や、課題等について市の担当者に電話で確認・相談したり、最近では身元引受人のない利用者への対応について、市へ出向いて相談・協議した経緯がある。また、運営推進会議への出席依頼等の働きかけも継続しており、サービスの質の向上に向けた取り組みがなされている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護事業や成年後見制度についての研修会に職員を派遣している。また講師を招いてホーム内での研修も行う予定で、職員が学ぶ機会を整備し、浸透に努めている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修に参加した職員が、ホームの勉強会で伝達研修を行うことによって職員間での理解を深めるよう努力している。また、毎日の生活の中でボディチェックを行い、傷や内出血等の有無に注意を払っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には十分な説明を行い、疑問などにはきちんと対応している。それ以外にも、随時疑問や質問を受けられる機会を設けて説明を行い、理解・納得を図っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>健康状態や金銭管理については毎月家族へ報告し、面会時にも随時利用者の情報を伝達している。また、3ヶ月に1回広報誌を発行し、日々の暮らしぶりを報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を2箇所を設置し、苦情・意見の吸い上げに努めている。苦情があった場合には全職員で対応について話し合い、1ヶ月間の改善期間を持ち、結果を全利用者・家族へ報告し運営に反映させている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の退職・異動については、利用者には食事の時間に皆が集まった時に説明しているが、家族に対しては面会があった時に説明している。それ以外の家族へは3ヶ月に1回の広報誌の中でしか説明されていない。</p>		<p>利用者にとって職員はなじみの関係であるばかりでなく、日々の生活の中で、信頼できる身近な存在となっている。そうした職員の異動が、利用者に与える影響は大きく、十分な配慮が必要と思われる為、利用者はもちろん家族に対しても、速やかな連絡・報告が望まれる。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月定期的に勉強会を設け、研修計画に沿って行っている。またスタッフミーティングや、ユニット毎の勉強会も行い、事例検討など、毎日のケアに行かせるよう取り組んでいる。外部の研修へはスタッフの段階に応じて、年2回程度派遣しており、参加した職員からの伝達研修も行っている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市内にある他のグループホームとの実習交流を行い、体験の中から得た収穫と学びを生かし、サービスの質向上に取り組んでいる。今後もこうした相互交流を計画しており、ネットワーク作りに努めている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至までの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前の事前面接の時点で、利用者・家族から情報を得て、家族とも相談し、家庭の延長として生活してもらうために、今までの生活のリズムを崩さないよう配慮している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日常生活の中で、料理や花壇の手入れ、野菜作りなど、教えてもらいながら一緒に行い、支えあう関係作りに努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>できるだけ利用者と会話する時間を多く持つように心がけ、食事の好みを聞いて献立に取り入れたり、一緒に買物に出かけて気分転換を図るなどしている。意思表示できない方については、家族にも入ってもらい意思の把握に努めている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日々の生活の中から利用者の課題を抽出し、職員間で話し合いを持ち、家族の面会時に意見や希望を伺って、意見を反映した介護計画の作成に努めている。</p>		<p>個人別記録は詳細に記録され、状態の把握ができるものとなっているが、個々の計画についての評価、目標に向けての実践経過が記録されていない。状態の変化に合わせてのアセスメントと、次のプランにつなげるための評価記録の整備に期待したい。</p>
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の定期的な見直しと、状態が変化した場合にも随時話し合いを行い、職員・家族の意見を取り入れ、現状に即した見直しが行われている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者の必要に応じて、病院への受診や通院等は家族とも相談・連携しながら送迎を行い、支援に努めている。</p>		


外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との連携は良好で、医師は月2回の往診の他にいつでも必要に応じて相談に乗ってくれ、助言を得られる状況にある。利用者・家族の希望も取り入れ、受診にも付き添い、適切な医療が受けられるよう支援している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の終末について、入居時や状態変化時に家族の意向を聞いている。家族が望む場合は、ホーム内で終末ケアを行う方針としている。そのためかかりつけ医や職員間の意志の統一を図り、家族も含めてホーム内でできること、できないことの話し合いも行っている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉使いやケアの手順など、利用者のプライバシーについては特に注意を払い、職員はもちろん、ボランティアからも同意書をとっており、個人情報の取り扱いは厳重にしている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	相手の立場に立ったケア、希望に沿ったケアに努めており、一人一人に合ったレクリエーションや作業、外出など、希望を取り入れて支援している。また団体行動の嫌いな人には、個別に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理や食事準備、後片付けなど、できることはしたいという気持ちを尊重し、持っている力を発揮してもらうように努めている。また、毎週1回利用者の希望を取り入れたお好みメニューの日を設け、食事を楽しめるような支援をしている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は本人の入りたい時に入ってもらよう、個々の希望を聞いて、毎日でも入れるよう支援している。入浴が好きな方には楽しんで入ってもらえるように、嫌いな人には無理強いしない程度にうまく誘って入ってもらうようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者個々の生活歴を大事にし、その人に合わせた作業やレクリエーション等を取り入れている。また毎日の生活の中で役割(料理、手芸、花壇の手入れ等)をもってもらい、ハリのある生活ができるよう支援している。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	食材の買出しやドライブ、散歩など、日常的に外出する機会を設け、週に2~3回位は戸外にでかけ、生活に変化をもたせる支援をしている。		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員は身体拘束に関する研修を受け、各自が理解し拘束をしないケアを行なっている。身体拘束が利用者にも与える影響、ダメージ等についても、日頃から勉強会などを通して学ぶ機会を設けている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は玄関の施錠はせず開放している。居室の鍵に関しては、勝手に出入りする利用者もいるため、個人の意思で施錠している方もいるが、有事の際には職員が開けて入れるようになっている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている</p>	<p>年2回、防災訓練(日中と夜間の避難訓練・消火訓練)を行っている。回覧板で事前に町内に連絡し、避難場所と消火活動への協力を依頼している。また、ホームとしても町内会の一員として役割を担っており、お互いに協力し合う体制ができている。</p>		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事・水分量は毎日観察し記録している。それぞれの利用者のもつ力や状態、摂取動作等に合わせた食事形態や水分補給を工夫して支援している。</p>		<p>糖尿病や高血圧の方もおり、以前は市の栄養士による指導を受け、食品交換表を用いての献立が作成されていた。しかし現在は栄養バランスのチェックはしておらず、栄養の偏り等の確認ができていない為、年1～2回でも栄養士による評価を受けることが望まれる。</p>
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症に関するマニュアルを整備し、職員の勉強会で確認し合っている。日頃から衛生面には特に注意し、エプロン、三角巾の使用、調理場でのスリッパの履き替えや、消毒も励行している。また流行時期には市からの文書に沿ってその都度徹底して行っている。</p>		

外部 評価 値	自己 評価 値	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>起床時には居室の窓を開けて換気を励行し、1日3回気温と湿度の確認を行い、快適な環境を維持するため随時調整している。職員と利用者の手作りの作品や写真なども飾られ、生活感のある共有空間となっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にはテレビが設置されており、利用者が好きな時に、個々に楽しめるようになっている。また各自が筆筒や衣装ケース等を持参し、落ち着けるように工夫している。家族が泊まる際は、利用者・家族と相談し居室に宿泊することが多い。</p>		

 は、重点項目。